



【概要版】

第三次

湖南省 地域自然 エネルギー 地域活性化 戦略プラン

令和7年3月 湖南省

1 戦略プランの目的/策定の意義

これからのエネルギーの活用に関しては、各地域がそれぞれの特徴を活かし、自律的で持続的な社会をつくることが求められています。

エネルギーコストの上昇や災害によるエネルギーの供給が途絶えるなど、日常生活への影響が予見されている中、災害に対する強靭性を備える自然エネルギーを活用した地域分散型電源の推進や、これまで市外に流出していたエネルギー資金を地域内に還流させる、地域経済の活性化、エネルギーの自給力向上による地域の強靭性の強化にもつながります。

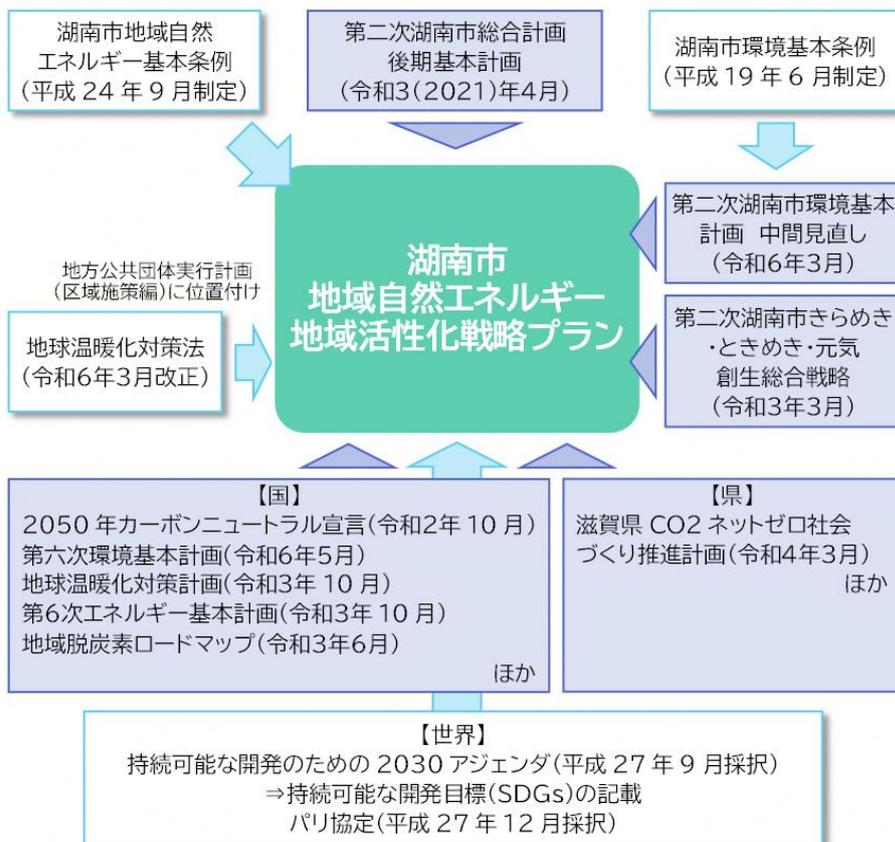
湖南省では、全国に先駆け市民共同発電所が稼働し、市民が地域に存在する自然エネルギーを共同で利用する先進的な取組を展開してきており、近年、自然エネルギーに関する取組は加速しつつあります。

今後、自然エネルギーの活用をさらに広げていくためには、市民や事業者、行政などが一丸となって取り組んでいかなければなりません。そのためには、これから湖南省がめざすべき姿や方向性、その実現に向けた道筋を示し、市民や事業者と共有することが重要となります。

自律的・持続的で強靭な湖南省のまちづくりを進めていくために、進むべき方向性を共有し、具体的な第一歩を踏み出すきっかけを作り出すこと、さらには、全国のトップランナーとして地域資源である自然エネルギーの地域内循環の仕組みづくりに寄与することに、本プラン策定の意義があります。

2 戦略プランの位置付け/対象範囲/期間

■位置付け



■対象範囲

◎自然エネルギー

- 太陽光発電
- 太陽熱利用
- 太陽熱発電
- 風力発電
- 小水力発電
- バイオマス燃料製造・熱利用・発電

◎自然エネルギーの普及や分散型エネルギー社会の構築に資する技術

- 蓄電池
- 電気自動車、プラグインハイブリッド車、燃料電池自動車
- コージェネレーション(熱電併給システム)
- 水素
- メタネーション

※将来的な脱炭素社会の実現に向けては、上記を稼働する(生成する)エネルギーを自然エネルギー由来にするものとする。

◎温室効果ガス

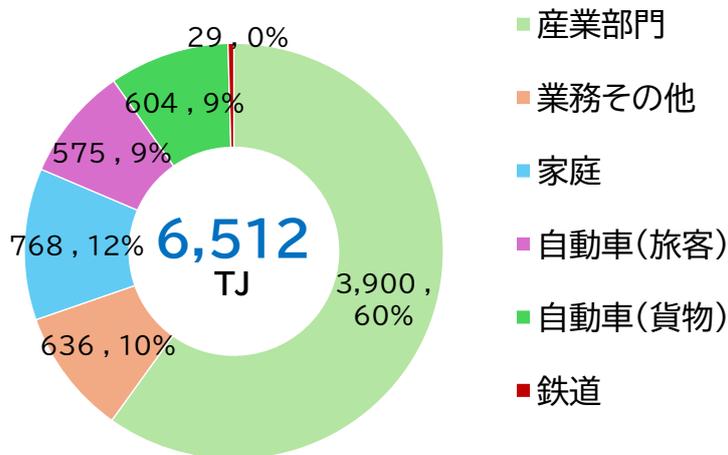
我が国から排出される温室効果ガスの多くを占め、市民活動によるエネルギー使用から最も多く排出される温室効果ガスであるCO₂のみを対象。

■戦略プランの期間

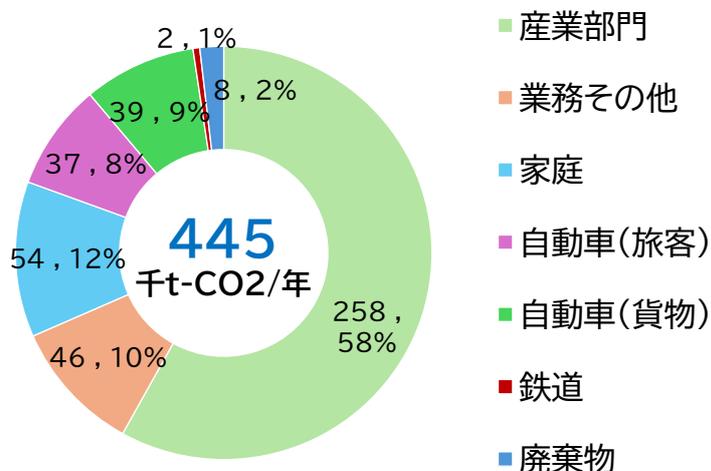
各取組については、短期集中型のプランとして令和7(2025)年度から令和11(2029)年度までの5年間とし、地球温暖化対策実行計画(区域施策編)としては、パリ協定及び国の計画の期間を勘案し、令和12(2030)年度を目標年度として設定します。

3 エネルギー消費量/CO₂排出量の現状

エネルギー消費量
(2021年度)



CO₂排出量
(2021年度)



4 前(第二次)戦略プランの評価検証

プロジェクト名	評価	効果		
		経済性 (貨幣換算)	環境性 (CO ₂ 削減)	副次的
①小規模分散型市民共同発電プロジェクト	△	6,063 千円/年	79 t-CO ₂ /年	出資者への配当を地域商品券で実施したことによる経済的効果
②家庭用太陽光発電買取プロジェクト	×	—	—	—
③自家消費型太陽光発電プロジェクト	◎	57,589 千円/年	753 t-CO ₂ /年	公共施設等への率先導入による市民への自然エネルギーの取組のPR効果
④イモエネルギー活用プロジェクト	△	711 千円/年	9 t-CO ₂ /年	農産物を活用した6次産業化、農福連携による取組の推進
⑤木質バイオマス活用プロジェクト	△	—	—	森林環境の保全、イベント、林福連携による取組の推進、裾野の拡大
⑥公共施設の脱炭素化プロジェクト	◎	40,651 千円/年	531 t-CO ₂ /年	地域事業者の事業への関わり及び経済的効果、施設利用者へのPR効果
⑦地域マイクログリッド構築プロジェクト	○	4,646 千円/年	61 t-CO ₂ /年	脱炭素化×レジリエンス強化、市民や市外へのPR効果

湖南省版シュタットベルケ構想

自治体新電力を核として自然エネルギーを活用することで
地域循環共生圏の実現とSDGsへの貢献をめざします



<基本方針・定量的な目標>

方針① (経済的視点)

地域自然資源を活用したエネルギー・経済の
循環による地域活性化の推進

2050年にエネルギー代金の域外流出を“0”とする

方針② (社会的視点)

地域資源との関わりを見つめ直し、
誰もが参画できるまちづくりの推進

2030年度に地域自然エネルギーに関する取組の関係人口を3,000人とする

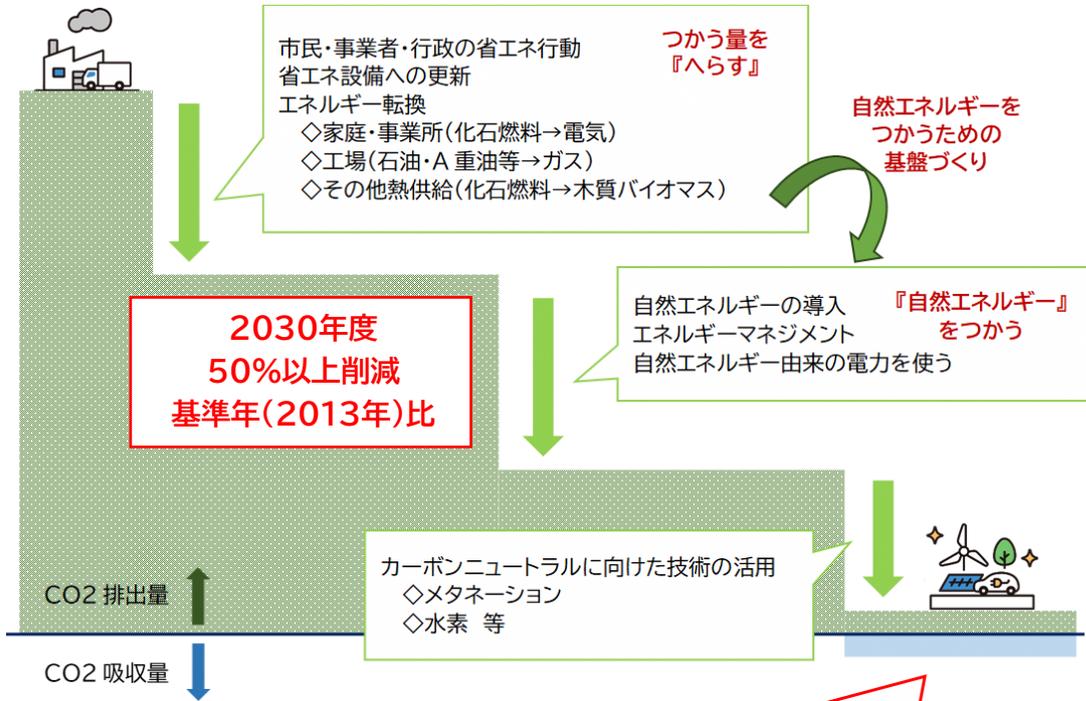
方針③ (環境的視点)

強靱と脱炭素を両立した持続可能なまちづくりの推進

2030年度のCO₂排出量を基準年比で50%以上削減する
2050年度に地域新電力の電力排出係数を“0”とする

【2050年におけるカーボンニュートラルの理想像】

- ① 家庭や運輸部門などで使用されるエネルギーはほぼ電力や水素等に置き換わっており、化石燃料を直接燃焼する機器は一切使われなくなっている。
- ② 電力や水素はCO₂を排出しないエネルギー(自然エネルギー、原子力等)によって製造されている。
- ③ 電力や水素で代替が難しい一部の用途(工場における高温熱、貨物用車両、船舶等)にはCO₂を再利用するメタネーションやアンモニアなどのクリーンな燃料が活用されている。
- ④ 各家庭・事業所等に電力需要量に応じた蓄電池が導入され、エネルギーマネジメントシステムが構築されている



◎地域脱炭素化促進事業の対象となる区域

地域脱炭素化促進事業の目標	2050年に本市の温室効果ガス排出量を実質0とする
地域脱炭素化促進事業の対象区域	住宅及び住宅以外の建物の屋根上
促進区域において整備する地域脱炭素化促進施設の種類の種類及び規模	市内全域における屋根上、カーポート型太陽光発電

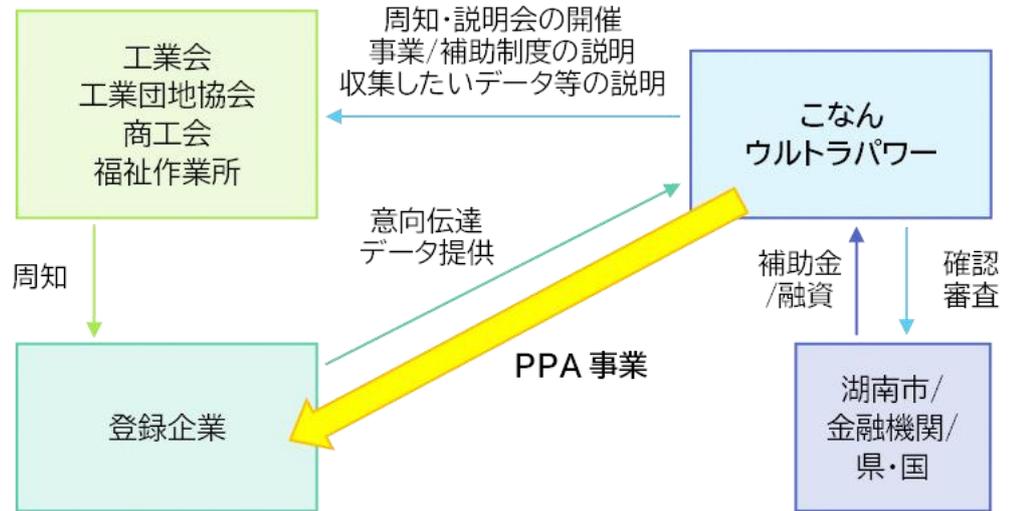
※国や滋賀県の環境配慮基準で促進区域から除外すべき区域は除き、考慮すべき区域・事項も考慮した上で、判断するものとする。

カーボンニュートラルの達成(森林等のCO₂吸収量と差し引いて、CO₂排出量を実質ゼロへ)

- 市全域で使用される電力の100%が自然エネルギー(※原子力等含む)由来
- 各家庭・事業所等に電力需要量に応じた蓄電池が導入され、エネルギーマネジメントシステムが構築されている(EVの蓄電池利用含む)
- 石油、A重油、ガソリンなどの化石燃料の不使用
- 水素等の次世代エネルギーの普及

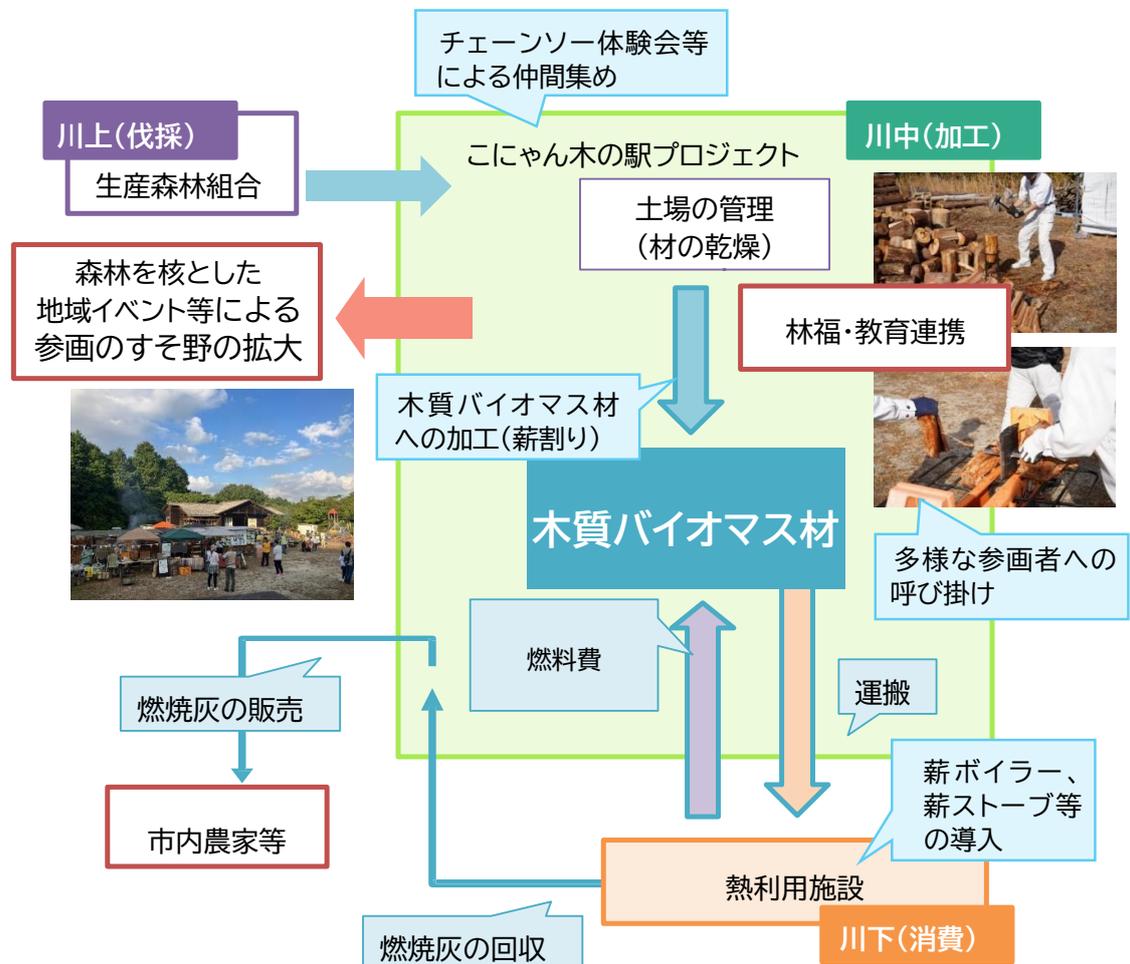
1 太陽光発電プロジェクト

- こなんウルトラパワー、合同会社こなんウルトラ脱炭素推進機構が中心となり、太陽光発電の導入を推進
- 蓄電池を同時に導入することで、発電量の変動を吸収し、一括管理を行う
- 産業の育成、仕組みづくり(設置やメンテナンス、リサイクルを地元事業者が行う)
- 地元企業へのアプローチを行い、本事業を推進
- 新たな住宅開発での太陽光発電等の自然エネルギー設備の導入を推奨
- 市内の事業者を対象に講習会等を行い、新築・リフォーム時に市内での太陽光発電が導入される仕組みを構築



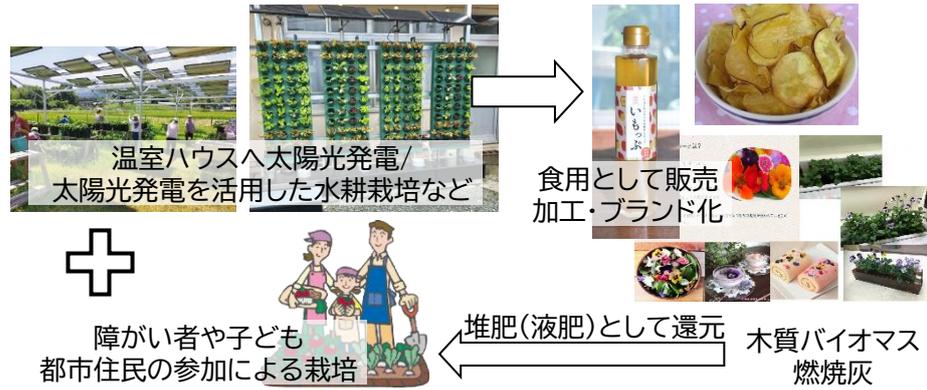
2 森林・福祉・エネルギーの連携による地産地消プロジェクト

- 市内の森林、林地残材等を活用する、こにゃん木の駅プロジェクトを中心とした取組
- 滋賀県立三雲養護学校 石部分教室と連携した薪割り
- 参画への呼び掛けやチェーンソー講習
- 木質バイオマス材活用に向けた薪ボイラー、薪ストーブの導入
- イベントやSDGs教育、燃焼灰の有効利用を検討・実施
- 市内学校や企業、大学、生涯学習等との地域連携



3 農業・福祉・エネルギーの連携による地産地消プロジェクト

- 温室ハウスでのオフグリッドモデルの太陽光発電導入(エネルギーコスト低減、農産物販売による収入を核として、農福連携による農産物の生産)
- 太陽光発電によるエネルギーを温室ハウスの空調や水耕栽培の水循環ポンプ機器、生育観察用カメラの電源に使うなど、エネルギーの地産地消による農業コストの削減やスマート農業への活用検討
- 未利用地(活用可能な農地以外)の有効利用として、ソーラーシェアリング(太陽光発電と土地利用の共有)の導入



4 公共施設の脱炭素化×地域レジリエンス強化プロジェクト

- 「湖南省公共施設地球温暖化対策実行計画(第二期)」や「脱炭素先行地域の事業計画」に基づき、公共施設の脱炭素化を推進(太陽光発電、蓄電池導入や空調設備更新、照明LED化等の省エネ改修)
- 現在、建替えの検討が進められている東庁舎の建設等にあたっては、太陽光発電や地中熱、木質バイオマス、マイクログリッドなど、エネルギーミックスによるレジリエンス強化の検討や市民への啓発効果も兼ね備えた脱炭素化を働きかける
- 太陽光発電の余剰電力を上手く活用し、市内の電気自動車や蓄電池に充電する仕組みなどを検討
- 将来的には、上記のマイクログリッド街区の構築のさらに発展形として、湖南省域全体をスマートグリッドによって繋ぐことにより、さらなるエネルギーの地産地消を目指す

5 一人ひとりによる脱炭素行動・教育プロジェクト

- 必要なときに必要な分を使うという意識など、ICT、AIも活用した、省エネ行動を推進
- 子どものころからの意識啓発が大切であり、子どもから大人たち(各家庭)への意識の普及を図る
- 「省エネ診断」や「市民連続講座」「エネルギーサービス事業」等を普及し、各主体ができることから、こなんウルトラパワーと連携して計画的に取り組む体制づくりを支援
- 地域未来のロールモデルとなる若者が主体的に継続してまちづくりに参画できる仕組みづくり

【重点プロジェクトのロードマップ】

項目		現状値 (2024年度)	目標値 (2030年度)
1 太陽光発電プロジェクト (地域新電力によるPPA事業)	福祉施設	2件	45件
	民間企業	1件	15件
	工場	0件	5件
	家庭	0世帯	500世帯
2 森林・福祉・エネルギーの連携による地産地消プロジェクト	地域自然エネルギーに関する 取組の関係人口	1,229人 (2022年)	3,000人以上
3 農業・福祉・エネルギーの連携による地産地消プロジェクト		1,229人 (2022年)	3,000人以上
4 公共施設の脱炭素化×地域レジリエンス強化プロジェクト	公共施設への太陽光発電導入	15件	32件
	マイクログリッドの構築	1件	2件

施策	取組	該当部門
施策1) エネルギーの地産地消の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の特色を活かした最大限の自然エネルギー発電の普及促 ○自家消費モデルの推進 ○安定的な電力の利用 ○地域と共生する自然エネルギー発電の取組 ○新たなエネルギーの活用検討、最新技術を活用した脱炭素化まちづくり 	共通
施策2) 自然エネルギーや省エネ設備の導入促進	<ul style="list-style-type: none"> ○古い設備を省エネ・高効率機器に更新する ○自然エネルギー由来の電力・原料への切り替え・導入を考える 	産業部門
施策3) 脱炭素に向けた取組の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○脱炭素・環境配慮に向けた取組を推進する ○脱炭素化の取組を表明する 	産業部門
施策4) 建築物の脱炭素化	<ul style="list-style-type: none"> ○建物のZEB化を進める ○古い設備を省エネ・高効率機器に更新する ○自然エネルギー由来の電力や設備を導入する ○自然エネルギー由来の電力・原料への切り替え・導入を考える 	業務部門
施策5) 脱炭素に向けた取組の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○脱炭素・環境配慮に向けた取組を推進する ○省エネ型・脱炭素型の働き方に改革する ○脱炭素化の取組を表明する 	業務部門
施策6) 脱炭素型生活スタイルへの行動変容の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○脱炭素化への関心と理解を深め、実践する ○脱炭素化を取組んでいる企業を応援・支援する 	家庭部門
施策7) 住まいの省エネルギー化・自然エネルギー導入の促進	<ul style="list-style-type: none"> ○古い家電を省エネ・高効率機器に更新する ○住宅改修時に省エネリフォームを検討する ○新築や住み替え時に省エネ住宅やZEH住宅、LCCM住宅を選択する ○自然エネルギー由来の電力や設備を導入する 	家庭部門
施策8) 環境にやさしい交通への転換	<ul style="list-style-type: none"> ○ガソリン車の利用を控え、公共交通や自転車での移動を増やす ○次世代自動車に転換する(ゼロカーボン・ドライブ) ○複数人の乗り合いやカーシェアリングを考える ○荷物の再配達を抑制する 	運輸部門
施策9) 環境負荷を低減する交通体系、基盤整備の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○公共交通ネットワークの効率化 ○次世代自動車等の普及促進に向けた充電スポットなどのインフラを整備する 	運輸部門
施策10) ごみの減少・資源化	<ul style="list-style-type: none"> ○3Rを推進する ○地産地消の推進と食品ロスの削減 ○資源化を行う 	廃棄物部門

『(仮称)地域循環共生圏連携協議会』を設置し、各主体が連携した取組を推進します。
市内における多様な主体が協議会に参加し、横断的に情報発信・情報共有を行うことにより、地域のニーズや課題を即座に把握することが可能であり、効果的でスピード感を持った事業の実施が期待できます。

第三次湖南省地域自然エネルギー地域活性化戦略プラン 概要版

■発行 令和7年(2025年)3月 / ■編集 湖南省 環境経済部 環境政策課 地域エネルギー室

■〒520-3288 滋賀県湖南省中央一丁目1番地 / ■TEL 0748-72-1290(代)

■FAX 0748-72-3390(代) / ■Mail energy@city.shiga-konan.lg.jp